

乳 腺 外 科

2018年度から『兵庫京大外科専門研修プログラム』での一括採用となりました。主な研修を行うメイン施設を設定し、そこで少なくとも2年間の外科専門研修を行います。残りの1年の内、半年は基幹病院(神戸市立医療センター中央市民病院。以下、中央市民病院、と記載します。)、半年は連携施設(県立尼崎総合医療センター、姫路医療センター、神戸市立西神戸医療センター、神鋼記念病院、公立豊岡病院、神戸市立医療センター西市民病院、赤穂市民病院の中から1病院以上を選びます。)での研修となります。

例えば、研修メイン施設が中央市民病院となった場合は、2年6か月間は中央市民病院で研修し、残り6ヶ月間は、7病院の中から神戸市立西神戸医療センターでの研修が割り当てられる可能性があります。また、例えば、研修メイン施設が神戸市立西神戸医療センターとなった場合は、2年間は神戸市立西神戸医療センターで研修し、残りの6ヶ月間は、中央市民病院での研修、もう残りの6ヶ月間は、6病院の中から神戸市立医療センター西市民病院での研修が割り当てられる可能性があります。

2病院以上での研修を行ってもらいますが、各病院での研修内容は、外科専門医取得が可能であり、かつ将来の乳腺専門医取得に有利なように配慮しています。例えば、中央市民病院研修の2年6か月間は乳腺外科のみを修練し、関連病院研修期間中に他領域を修練することも可能です。また、例えば、中央市民病院研修の2年間6か月間の内、2年間は乳腺外科を研修し、4か月間を一般外科で研修し、1か月間を心臓血管外科で研修し、1か月間を呼吸器外科で研修し、6か月間の関連病院研修期間中も乳腺外科だけを修練することも可能です。また、中央市民病院での研修中には、臨床病理科、腫瘍内科、放射線治療科、形成外科、緩和ケア科などの中から数科を選んで、数か月間の研修をすることも可能です。

乳腺外科医としての研修初期においては、一般外科、病理科、腫瘍内科、放射線治療科、形成外科、緩和ケア科などのできるだけ幅広い領域の研修を経験することが望ましいです。しかしながら、多くの大病院においても乳腺外科指導医は1、2名であることがほとんどで、一病院で研修をする場合に、指導医の専門領域、得意領域が研修内容に影響しがちです。また、乳腺外科医が関与する範囲や、乳腺外科医に求められている役割も施設ごとに少しずつ異なります。研修施設での負の影響を少なくするように、病院異動の際には、乳腺外科全般にわたる評価表を作成し、部長間の申し送り書としても活用し、all roundな乳腺外科医になれるような研修内容になっているかどうかの点検を行っています。複数の施設での乳腺外科を研修することの正の影響は、施設の得意分野を深く勉強する機会を得られるだけでなく、乳腺外科医としての進路選択(専門領域を薬物療法や、乳房再建や、緩和ケア、などに絞り込んでいく)にも役立つであろうと考えています。

このプログラムでは、兵庫県内の2病院以上で、幅広い経験を積むことで、柔軟で視野の広い乳腺外科医を育成することを目的としています。実り多い研修を行うには、異なる

施設、異なる外科医から学ぶことのできる柔軟性、積極性、適応力が必要です。3年後にはどの領域（基礎研究、臨床研究、などを含めまして）に進んでも、その後に大きく成長できる基礎的な能力を身につけられるよう心がけています。

概要

日本外科学会外科専門医取得、日本乳癌学会乳腺認定医取得、日本乳癌学会乳腺専門医取得ができるような修練カリキュラムを組んでいます。

各施設の特徴

神戸市立医療センター 中央市民病院 <http://chuo.kcho.jp>

部 長：加藤 大典 （乳腺指導医）
医 長：木川 雄一郎 （乳腺専門医）
副 医 長：常盤 麻里子、武部 沙也香

初回乳癌手術件数（2018 年）	合計 230 例
乳房温存手術（乳房部分切除、全乳腺摘出、腺葉区域切除などを含む）	27 例
乳房温存手術＋センチネルリンパ節生検	123 例
乳房温存手術＋腋窩リンパ節郭清	11 例
乳房切除術（乳房再建を伴う）	4 例
乳房切除術＋センチネルリンパ節生検	43 例
乳房切除術＋腋窩リンパ節郭清	22 例

乳癌診療においては、最新の教科書、文献、学会発表、ガイドラインを参考にして、年々改訂する先進的内容を実践しています。また、それを可能にする機器（トモシンセシス、最新のステレオ透視下生検装置、ICG 蛍光カメラ、など）を備えています。診療の多くは、優れた他科との連携によって行われています。診断は病理医と、薬物療法（化学療法、ホルモン療法）は腫瘍内科医や薬剤師と、放射線療法は放射線治療医と、乳房の整容性維持には形成外科医と、再発乳癌治療は緩和ケア医や看護師と、カンファレンスなどを通して、協議協力しながら集学的診療、チーム医療を行っています。

研修期間中、乳腺外科だけでなく、病理科、腫瘍内科、放射線治療科、形成外科、緩和ケア科などの研修も受けられるような機会を提供します。

神戸市立西神戸医療センター <http://nmc.kcho.jp/>

部 長：奥野 敏隆 （乳腺専門医）

乳腺疾患手術症例（2018 年）	合計 132 例
乳房温存手術	39 例

乳房切除術	71 例
良性乳腺腫瘍	22 例

神戸市立医療センター 西市民病院 <http://www.kobe-nishishimin-hospi.jp>

部 長 : 三瀬 昌宏 (乳腺専門医)

乳腺疾患手術症例 (2018 年)	合計	47 例
乳房温存手術		20 例
乳房切除術		25 例
良性乳腺腫瘍他		2 例

一般目標

集学的治療ができる、オールラウンドな乳腺科医育成を目指しますが、乳癌診療上のクリニカルクエスト、未解決重要事項、を見つけ出せるような考え方を育み、それを解決するための臨床研究遂行能力（多施設共同研究への参加と実施、臨床研究のプロトコール作成、倫理委員会への書類作成、学会発表、論文作成を含めた）養成までも目指します。研修修了後の円滑なキャリアアップ（大学院進学など）ができるよう、京都大学乳腺外科などとの共同研究を通して乳癌の生物学に基づいた臨床能力を涵養します。研修修了後は、是非とも大学院に進学されて、乳癌の治癒率を飛躍的に向上させる診療の開発に携わっていただきたいです。

行動目標

日本乳癌学会乳腺認定医カリキュラムなどを十分カバーできるカリキュラムにしています。

- 1年目：** 乳腺疾患における基本的事項（解剖、生理、疫学、病理、バイオロジー、検診、診断、治療、リハビリテーション、緩和・終末期医療、医療倫理）について外科、放射線科、化学療法科、病理部で学習します。外科、放射線診断または放射線治療について 50 例以上の乳癌症例や乳腺良性疾患について診療します。
- 2年目：** 1 年目で学習した乳腺疾患における基本的事項を発展させ、外科、放射線診断または放射線治療について 50 例以上の乳癌症例や乳腺良性疾患について診療します。また、乳腺疾患に関する研究を、日本乳癌学会などの学会で発表を 2 回以上行います。
- 3年目：** 主治医として外科、放射線診断または放射線治療について 50 例以上の乳癌症例や乳腺良性疾患について診療します。乳腺外科をローテートする短期研修医（初期研修医を含む）の指導を行ってもらいます。乳腺疾患に関する臨床的研究を行います。その研究成果を、日本乳癌学会を含む学術集会において発表します。また、今までの学会における発表内容をまとめ、欧文または和文論文として投稿します。

週間スケジュール

中央市民病院乳腺外科

手術日	全身麻酔症例：火曜日（8：45～17：30）、木曜日（8：45～17：30） 局所麻酔症例：火曜日（8：45～17：30）、木曜日（8：45～17：30）
外来	月曜日、水曜日、金曜日
検査 (マンモトーム生検など)	水曜日（10：00～17：00）
カンファレンス	病理カンファレンス：火曜日（18：00～18：30） 放射線治療カンファレンス：第4火曜日（17：30～18：00） 化学療法カンファレンス：水曜日（8：15～8：30） マンモグラフィ・エコーカンファレンス：水曜日（17：30～18：30） 治験カンファレンス：木曜日（17：00～17：15） 乳腺外科カンファレンス：木曜日（17：15～18：30）

西神戸医療センター乳腺外科

手術日	全身麻酔症例：火曜日（9：00～17：00） 局所麻酔症例：火曜日（13：00～17：00）
外来	月曜日、水曜日、木曜日
検査 (超音波、生検など)	月曜日（13：30～16：30）、木曜日（13：30～16：30）
カンファレンス	外科カンファレンス、術前症例検討会（消化器外科と合同）： 火曜日 7：30～、水曜日 18：00～ 術後症例検討会（消化器外科と合同）：火曜日 16：00～ 乳腺病理画像診断カンファレンス：4週に1回、木曜日 17：30～ 抄読会（消化器外科と合同）：木曜日 8：00～

西市民病院外科・乳腺外科

手術日	全身麻酔症例：火曜日（9：00～17：00）、木曜日（9：00～12：00）
外来	月曜日、木曜日（午後）、金曜日
検査	月曜日、金曜日
カンファレンス	外科カンファレンス、術前症例検討会（消化器・呼吸器外科と合同）： 水曜日 17：30～、金曜日 17：00～ 乳腺外科カンファレンス 木曜日（中央市民病院乳腺外科医も参加）

専門研修プログラム

兵庫京大外科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL：http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

加 藤 大 典 : h-kato@kcho.jp

奥 野 敏 隆 : toshitaka_okuno@kcho.jp

三 瀬 昌 宏 : m-mise@kcho.jp